



各会だより

■ 原子力友の会

■発足の経緯

羽倉 尚人 (H17エネルギー基礎)

2008年4月、工学部に新たに「原子力安全工学科」が設置されたことに伴い、本学科の卒業生を母体として、2011年11月、「原子力友の会」は設立しました。読者の皆様は既にご存知のことだと思いますが、本学では、武藏工業大学時代から原子力・放射線に関する教育・研究が継続されてきました。そこで、原子力友の会では、原子力安全工学科の卒業生だけではなく、本学で原子力・放射線を学び、卒論を仕上げて卒業された方々にも会員として加わっていただこうと考えました。

本学の原子力研究所（王禅寺キャンパス）では、1968年から学部生の受け入れがスタートし、2012年度までに388名が卒論に取り組みました。また、世田谷キャンパスにおいては、1997年にエネルギー基礎工学科（その後、環境エネルギー工学科に改名）が設置されました。この学科にも原子力・放射線分野の研究室が設置され、多くの学生が卒論に取り組みました。



学位授与式の様子 (2013.3.19)

このように、原子力安全工学科は新しく生まれた学科であるとともに、原子力研究所および前身となる学科の多くの先輩方の下にあります。こうした卒業生と原子力安全工学科の卒業生および学生が交流する場として、本会は発展していきたいと考えています。

■主な活動

現在の主な活動としては、「年に一回の総会（6月ごろ開催）」と「友の会賞の授与」があります。総会は、年間の計画等を話し合うとともに、先輩後輩の交流の場となっています。友の会賞については、原子力安全工学科の卒論発表会において優秀な発表をされた学生に対し、学位授与式の際に表彰をしています。まだまだ活動自体始まったばかりですが、会員相互の交流の促進を図るために、若手が中心となって新たなイベントを企画しています。

■会員募集

原子力友の会は、上記の発足の経緯においてご紹介した通り、一学科の卒業生のみからなる会とは性質が異なります。原子力安全工学科の卒業生に毎年入会をしていただくとともに、他の学科ご出身で、原子力・放射線に関わる研究に取り組まれ卒業した方も本会会員として入会をお願いしたいと考えております。つきましては、ぜひ一度、本会のホームページをご覧いただき、趣旨にご賛同いただけましたら、ご入会していただければと思っております。

●原子力友の会ホームページ：

<http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/tomo/index.html>

■ 柏門技術士会

東京都市大学に夢を託して

東京都市大学 柏門技術士会は、今年で創立10周年を迎えました。去る10月19日に世田谷キャンパスにおいて、ご来賓として公益社団法人 日本技術士会から鮫島信行副会長、東京都市大学からは片田敏行副学長、湯本雅恵工学部長、涌井史郎教授、坊垣和明教授、皆川勝教授、勝又英明教授、そして校友会からは吉田勝副会長、柏三水会から山田真久会長にご出席を戴きお祝いの宴を開催致しました。また、東京工業大学の技術士会である蔵前技術士会、日本大学の桜門技術士会、早稲田大学の技術士稻門会等13校の大学技術士会連絡協議会の代表の方々にご出席を頂きました。

現在、全国には24校の大学技術士会がありますが、我が柏門技術士会は4番目の早期創立で360名の会員を擁し、一目をおかれる存在であると自負しています。これに至るには、武藏工大におけるまさに「手作りの教育」を受け、巣立っていった卒業生が技術者として認められて、社会で活躍している証であると思います。

そして、平成25年6月末に開催されました公益社団法人 日本技術士会の定期総会後の理事会において、我が同窓の吉田克己氏 (S48電気) が第20代会長に就任されました。まさに母校の誉れであります。

柏門技術士会の創設は、初代会長の五艘章氏 (S41土木)、初代事務局長の松田洋紀氏 (S43土木)、松本和生先輩 (S34土木) 他多数皆さんのご尽力と増田陳紀先生と皆川勝先生 (S56土木修) をはじめとする大学側のご支援を受けて立ち上がり、その後引き継がれた山田秋夫第二代会長 (S35土木)、佐伯勲第三代会長 (S41土木)、そしてこの10年間を支えて頂きました会員の皆様のご努力により、様々な活動をしてまいりました。



平成25年度 世田谷祭展示ブース

会長 小林 洋一 (S48電気)



緑土会のご協力を得て、都市工科学生を対象とした「技術者倫理寄付講座」の提供を累計49回、柏門技術士会会員向けには見学会13回、講演会22回に亘るCPDの提供、毎年の大学祭では本会ならびに技術士制度のPR、そして会報誌を創刊号から第10号まで毎年編集・発刊してまいりました。これからも創意・工夫を図りながら、これらの活動を継承・充実してまいります。

また、「武藏」の最終号に寄稿する機会に恵まれましたことに感謝すると共に新しい東京都市大学に夢を託して、これからも母校を愛するすべての皆様と共に、より良い柏門技術士会を目指してまいります、一層のご協力・ご支援を賜りますようお願い致します。

柏門技術士会への入会申込みは、下記のURLからお願い致します。

<http://www.tokyotosi-hakumon.org/>